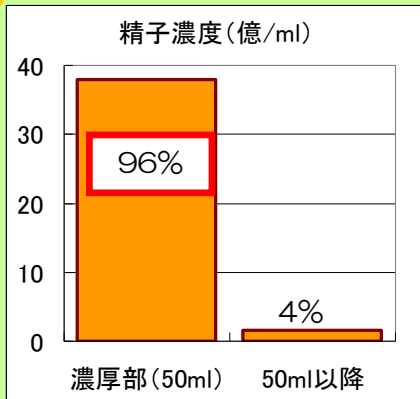


アグー凍結精液をもちいた人工授精

アグー凍結精液の作製

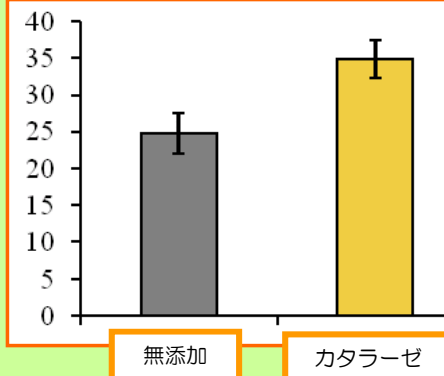


精液の濃厚部50mlを凍結する

採取後すみやかに精漿を除去する



融解6時間後の精子運動率



各処理液には、エンドトキシン除去水を使用し、前処理液・融解液へ抗酸化剤（カタラーゼ、N-acetyl-L-cystein）を添加

アグーの凍結精液作製の効果

- ・ 希少豚である「アグー」の遺伝資源保存
- ・ 優良血統の配布による改良スピードアップ
- ・ 自然災害や疾病対策としてのリスク分散

アグー凍結精液をもちいた人工授精



1 融解液を入れたAIボトルを38°Cに加温



2 ストローを融解(38°C、1分)する



3 ストローをボトルへ差込む



4 精液と融解液を攪拌混合



5 人工授精するまで38°Cで保温



6 カテーテルをもちいて人工授精を3回行う

- ・ このパネルは新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業(22086)「豚の優良遺伝資源の安全な流通、生産性の飛躍的向上を可能とする保存・活用に関する研究」の成果です。
- ・ 凍結精液作製技術は特許技術(広島大学・大分県出願:特許出願2007-325313、特許出願2009-144703)が含まれています。
- ・ 希少豚であるアグーを保存するために、生体・凍結精液・凍結胚などの沖縄県外への移動等は沖縄県アグーブランド豚推進協議会規定により制限されています。

鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場、大分県農林水産研究指導センター畜産研究部、沖縄県畜産研究センター(独)家畜改良センター、(独)農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究所